

令和4年2月15日

北宇和高校教育寮 新築基本計画

1 敷地の条件

敷地面積 約 830 m²
都市計画区域内
用途地域 未指定
建ぺい率 70% (角地は 80%)
容積率 200%

【敷地概要】

本高校寮敷地は、北宇和高校から北東に約 300m、JR 近永駅から東へ約 160mの場所にある。

敷地全体面積は約 830 m²あり、敷地北側は国道 441 号に接道しており、近永商店街の中心に位置している。

2 前提条件及び新築における施設のあり方

(1) 前提条件

- ① 寮の定員は 12～15 人程度確保する。(個室)
- ② 構造は木造とする。
- ③ 定員確保のため、2階建てとする。
- ④ 寮生の保護者、管理人等が利用する駐車場として 3 台分確保する。また、寮生の定員に応じた駐輪場を設置する。
- ⑤ 寮生の食事・配膳・湯沸しができ、家庭的な雰囲気ですっきりくつろげる共用スペースを設ける
- ⑥ 男女比に応じて居住空間を容易に区別できるよう考慮する。
- ⑦ 現在建設予定地に建っている建物(木造瓦葺2階建 1階 46.28 m²、2階 19.83 m²)の解体工事費も全体工事費に含むため、解体工事費の見積徴取を行う。

(2) 新築における施設のあり方

【重点項目】

- ① 寮は学校林を伐採した木材を使用する。用途は自由。
(ヒノキ 樹齢約 70 年、搬出材積約 100 m³、長さ 4m ※2 月中に伐採予定)
- ② 「近永駅周辺賑わい創出プロジェクト」の拠点であり、寮生と地域住民との交流につながることを念頭に置いた施設とする。
- ③ 施設全体をコンパクトに計画し建設費を抑制するとともに、維持管理等将来にわ

たってメンテナンス性に優れた施設とする。

- ④ 自然採光・自然通風を効率良く確保し、断熱性能を高めた施設とする。
- ⑤ 環境負荷に配慮し、自然エネルギーの活用（太陽光発電等）、省エネルギー対策、資源の再利用など、環境に配慮した施設とする。
- ⑥ 震災や水害などの大規模な災害が発生した際に、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図れるよう災害に強い施設とする。
- ⑦ 建設の初期投資を抑えるだけでなく、日々の光熱水費や将来的に発生する改修・維持・管理にかかるメンテナンス費用も考慮した、ライフサイクルコストの縮減を図る。また、施設の長寿命化に配慮する。
- ⑧ 機器・備品類にはできる限り汎用製品などを用い、日常の管理及び軽微な修繕や機器更新を合理的に実施できる施設とする。
- ⑨ 工事期間中においては、低騒音機械の使用や防音シートの使用等により、騒音対策を十分に行い、周辺住民に配慮した安全と環境に配慮する。
- ⑩ 地域住民との交流、イベントなど様々な活動ができる多目的スペースを用意する。

3 施設の条件

- (1) 延べ面積 寮 700～800 m²程度とする。
- (2) 主要構造 木造
- (3) 階数 2階建て
- (4) 工法 施工の容易な汎用性の高い工法とする。
- (5) 規模
 - ア 入寮生定員 12～15名
 - イ 管理人 1名
- (6) 必要諸室等
 - 別添のとおり